

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成30年 6月 27日

大分県知事
広瀬 勝貞 殿

提出者

住所 大分県大分市大字竹中大六1146

氏名 株式会社NIPPO 大分統括事業所
所長 松本 晃

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 097-597-4441

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 NIPPO 大分統括事業所
事業場の所在地	大分県大分市大字竹中大六1146
計画期間	平成30年4月1日から平成31年3月31日
当該事業場において現におこなっている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業
②事業の規模	45,539万円(元請完成工事高)平成30年3月期
③従業員数	12人(平成30年4月1日現在)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	アスファルト・コンクリート破片は、自社アスファルトプラントで自ら中間処理した後、AS再生骨材および再生合材として再生利用および販売を行う。それ以外の産業廃棄物は、処理委託し再生利用を促進し最終処分量を低減する。

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
別紙による		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
①現状	【前年度(平成29年度)実績】 別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	排 出 量	t t
	(これまでに実施した取組) 発生抑制を考慮した施工方法を検討した。(オーバーレイ工法等) 再生利用ルートの確保 廃棄物の分別を徹底し、再生利用を推進する	
②計画	【目標】 別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	排 出 量	t t
	(今後実施する予定の取組) 発生抑制を考慮した施工方法の検討(オーバーレイ工法等) 再生利用ルートの確保 廃棄物の分別を徹底し、再生利用を推進する。 発生抑制の為の教育・訓練指導を強化する。	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物と有価物の分別の徹底	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も廃棄物と有価物の分別を徹底する	

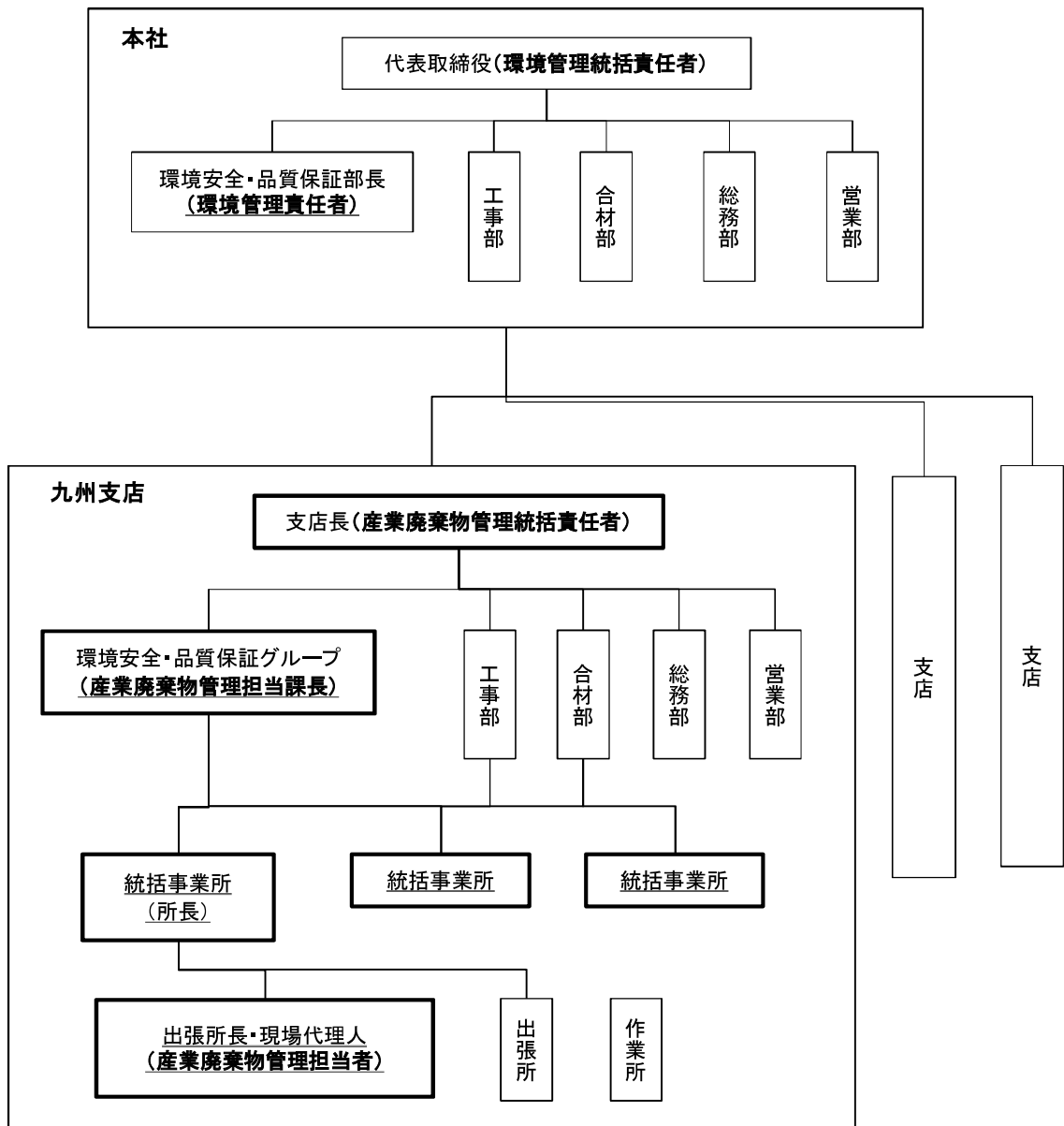
(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度(平成29年度)実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) アスコン塊の、自己再生利用率100%。 それ以外はほとんど委託処分となっている。		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 自己再生利用率アスコン塊100%の継続を目標に取り組む。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度(平成29年度)実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入に関する事項			
①現状	【前年度(平成29年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】 —		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度(平成29年度)実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 可能な限り中間処理業者に委託し最終処分の削減に努めた。		

②計画	【目標】 別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t
	再生利用業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組) 可能な限り自己再生利用を行うとともに、優良認定業者への処理委託 再生利用の推進を行う。	
※事務処理欄		



平成30年度 産業廃棄物処理計画 (大分県)

(株)NIPPO 大分統括事業所

記入項目	産業廃棄物発生量	上段:平成30年度目標量		下段:平成29年度実数量		処理委託	
		自ら再生利用を行う量	自ら熱回収を行う量	自己中間処理により減量した量	自ら埋立処分、海洋投入する量	処理委託量	再生利用量
産業廃棄物							
アスコン塊	3,500.00	3,500.00	0	0	0	0	0
建設汚泥	3,622.00	3,578.00	0	0	0	44	44
	10.0	0	0	0	0	10.0	10.0
	14.40	0	0	0	0	14.40	14.40
平成30年度目標量合計	3,510	3,500	0	0	0	10.0	10.0
平成29年度実績合計	3,636.40	3,578.00	0.00	0.00	0.00	58.40	58.40

単位: t

平成29年度 産業廃棄物 処理実績表(大分県)

区分	品目	Asから	再資源	汚泥	再資源							
		総量	化量	総量	化量							
大分統括事業所	県域	3,622.00	3,622.00	14.40	14.40							
		0.0	0.0	0.0	0.0							
		0.0	0.0	0.0	0.0							
		0.0	0.0	0.0	0.0							
総量計		3,622.00	3,622.00	14.40	14.40							